



# うたいぼん 謡本を読んでみよう!

## 「若手能」鑑賞のための入門講座

講師 能楽大倉流小鼓  
ひさだ やすこ  
久田陽春子

能鑑賞がはじめての方向けの入門講座です。  
能の台本を「謡本（うたいぼん）」といいます。  
平成29年1月21日（土）に行われる第26回記念公演  
「若手能」大阪公演の演目「小督(こごう)」を題材に、実際の演能の流れにそった解説を聞きながら、一部をみんなで声に出して読みます。文語で書かれているために、聞き取りにくく難しいと思われがちな能を楽しく理解して、能鑑賞をより充実したものにしてみませんか。謡曲を声に出して読む楽しさを感じてみてください。

◆日時 平成29(2017)年**1月14日(土)**

13:00~15:30(開場 12:30)

◆場所 大阪市立中央図書館 5F中会議室

◆定員 60名(当日先着順) 入場無料

◆対象 どなたでも

◆お問合せ

大阪市立中央図書館 利用サービス担当  
TEL:06-6539-3303



## 講師プロフィール 久田陽春子(ひさだ やすこ)

能楽師 大倉流小鼓方

公益社団法人 能楽協会 正会員

1973 年生まれ

大倉流 16 世宗家 大倉源次郎および 父 大倉流小鼓方 久田舜一郎に師事。

- ・能「鞍馬天狗」子方、花見にて初舞台。
- ・1985 年 大阪能楽養入会、卒業ののち能「乱」「石橋」を抜く。
- ・2005 年 能「道成寺」にて大阪舞台芸術新人賞を受賞。
- ・2010 年 自主公演「幸祐・陽春子 能の会」にて能「安宅」を抜く。

全国でも数少ない公式の舞台に出演する女性能楽師として各地で活動。

また、能楽の普及および伝統芸能である能楽を守り後世に伝えていくための活動にも力を注いでいる。

夫 寺澤幸祐は観世流シテ方 叔父 久田勘鷗は観世流シテ方 長男 (拓海)、長女 (杏海) も子方として各地の舞台に出演中。

## 第 26 回記念公演「若手能」<sup>(※)</sup>大阪公演の演目について

### 小督 (こごう)

能の曲目。四番目物。五流現行曲。金春禅竹(こんぱるぜんちく)作。『平家物語』巻 6 の「小督事」によった現在能。高倉天皇の寵愛を受けていた小督の局は、中宮が上がりさせた女性で琴の名手であった。高倉天皇は、中宮の父である権力者・平清盛(きよもり)を恐れて身を隠した小督の局(つぼね)のことを深く嘆かれる。天皇の命を受けた勅使(ワキ)は弾正大弼(だんじょうのだいひつ)である仲国(なかくに)(シテ)にその捜索を命ずる。仲国は、小督(ツレ)の琴の音をたよりに探そうと、小督と侍女がわびしく住んでいる嵯峨野(さかの)へと向かう。宿の主が都の高貴な女性を泊めていることを語り、名月の夜とて琴を所望する。後シテは馬上の態で登場。「駒(こま)の段」とよばれ、月下の嵯峨野の描写が美しい。『想夫恋(そうぶれん)』の琴の音を聞きつけ、仲国は案内を請い、身分を明かそうとせぬ小督に天皇の嘆きを伝え、御書を渡す。玄宗と楊貴妃(ようきひ)の悲恋を引いて、つらい小督の恋心が語られ、仲国は小督に宮中へ帰られるよう説得する。直接の返事をした仲国は、別れの宴にさわやかに舞う。平曲の筋を舞台化した能だが、辞去の前に仲国が杯を受けて舞を舞うというように仕立ててある。

[参考文献] 『日本大百科全書(ニッポニカ)』(小学館)、『新版 能・狂言事典』(平凡社)

(※)若手能 ……大阪・兵庫の40歳以下の若手能楽師が企画・運営し、行っている公演

主催 / (独)日本芸術文化振興会 国立能楽堂

協賛 / (公社)能楽協会 大阪支部

後援 / 大阪府 大阪府教育委員会 大阪市 大阪市教育委員会

### 関連図書展示

講座の内容に関連した図書展示を行っています。こちらもぜひご覧ください。

【タイトル】能の世界へご案内

【日時】：平成 28 年 12 月 16 日(金)から平成 29 年 2 月 15 日(水)まで

【場所】：中央図書館・地下 1 階 レクリエーションコーナー前

